

自然

「秋の野毛町公園遠足」

3歳児きりん組

2025年11月21日 9時半～13時半



3歳になって初めての遠足です。いつも行っている公園より遠い公園へ電車に乗っていきました。お天気の良い日だったので、ぽかぽか陽気の中、玉川野毛町公園まで秋を感じに行ってきました。

子どもの活動

家を出るときから、いえいえ昨日から遠足に行くのを楽しみにしていた子ども達です。公園まで、二人で手をつないで、列になって道の端を歩きました。

電車に乗る時の注意をよく守り、1駅区間だけでしたが、静かに周りの人の迷惑にならないよう乗ることができました。道を歩くときは、2人で手をつなぎ、前のお友達の後を歩くことができました。

公園では、興味のある場所で、お友達と遊ぶ姿がありました。木の実や落ち葉、石といった自然物を集める姿や、鳥の声に耳を済ませたり、虫探しをしました。

子どもの様子

公園までの道では、ミカンの木に実がたわわになっているのを見つけました。「あの実は、ミカンだね」という子がいました。保育園の庭にもミカンの木があるので、どんな木なのかを知っていたのだと思います。公園では、遊具で遊ぶ子どももいましたが、木の実を見ついたり、風で葉が舞い落ちるのを見て、みんなで落ちてくる葉っぱを捕まえようとジャンプし

ていました。落ち葉の中に足を入れて、シャカシャカする感触を感じて、「靴がみえないよ」という子どもがいました。近くにどんぐりが生る木がないのに、どんぐりが落ちていました。「(どんぐりが) どこから来たのかな」と背の高い木に目をやる姿がありました。また、小さな赤い実が地面にたくさん落ちているのを見つけて、「これ、鳥さんが食べるかな?」と、木の実を小鳥が食べることを知っている子どもがいました。ちょうどその時、ピーピーという鳥の音がしたので、「鳥が来たね」と、保育士と子どもとで話しました。鳥の姿は確認できましたが、種類までは分かりませんでした。

公園には、赤色や、丸、三角の石がたくさんあり、石拾いをする子どもがいました。また、蝶やテントウムシがいたのを見つけて、虫探しをする子どもがいました。

子ども達それぞれが遊びを見つけて、秋の自然を感じる事ができた遠足をなりました。

振り返り

秋に実る果実や、落ち葉、木の実を見つけることができ、秋の自然を感じられる遠足でした。保育園から駅、駅から公園までの道のりは子どもの足で、それぞれ約10分と3歳児の子どもに丁度良い距離でした。

子ども一人一人がそれぞれ秋を楽しむ遊びや収集活動ができました。公園で食べたお弁当は、とても美味しくみんなパクパク食べました。屋外でみんなで食べるお弁当は特別でした。保育園にある絵本、「いしころかくれんぼ」「ばけばけはっば」の絵本にあるように、公園で拾った木の実と葉っぱで後日工作をしました。

